

令和8年度第1回東広島市入札監視委員会会議概要

1 会議名

令和8年度第1回入札監視委員会

2 開催日時・場所

令和8年6月4日（木） 18:00～19:15

東広島市役所本館4階 入札室

3 出席委員

岩元委員、石垣委員、神野委員、高島委員

4 出席職員

総務部長、総務部公共調達統括監兼検査課長、建設部道路建設課長、都市交通部営繕課長、建設部維持課長、下水道部下水道建設課長、事務局員

5 会議の概要

(1) 東広島市の入札契約制度の改正等について

次の事項について、事務局から説明を行った。

ア 総合評価落札方式一般競争入札の改正について

イ 地域条件付一般競争入札の試行導入について

ウ 最低制限価格の見直しによる入札不調への対策について

(2) 入札及び契約手続に係る運用状況の報告について

次の事項について、事務局から説明を行った。

ア 入札方式別発注工事の状況

イ 指名除外措置の運用状況

(3) 検証対象工事の検証について

次の検証対象工事について、入札参加資格要件、工事概要等を事務局及び施工担当課から説明を行った。

ア 令和7年度 生活市道整備事業 兼沢檜原線道路改良工事

イ 令和7年度 未来都市形成事業 旧竹仁小学校改修工事

ウ 令和7年度 道路維持修繕事業 田代本線舗装修繕工事

エ 令和7年度 東広島市下水道事業 風早地区污水管渠建設工事（安07-1）

オ 令和7年度 生活市道整備事業 御菌宇東39号線道路改良工事

(4) その他

ア 回目の検証対象工事の抽出委員について

抽出委員は配布した名簿の順とし、回目の抽出は石垣委員が行うことで決定した。

イ 今後の開催方法について

後日開催方法について照会を含め日程調整を行うこととなった。

ウ 次回委員会の開催について

令和8年度第2回委員会の開催は令和8年8月頃の予定とし、後日調整を行うことで決定した。

6 発言の内容

(1) 東広島市の入札契約制度の改正等について

発言者	内容
委員	総合評価落札方式一般競争入札の改正について、より技術力のある業者を評価するものだと思いますが、実績の少ない事業者が不利となり、入札参加を控える懸念はないでしょうか。
事務局	ご指摘の懸念はありますが、価格競争に偏ると、ダンピング受注により不当な低賃金での雇用に繋がる恐れがあり、その防止の観点から、より技術力を重視する方向へシフトするものです。
委員	地域条件付一般競争入札の施行導入について、実施期間の定めはありますか。
事務局	今後、適用範囲を広げることを考えていることもあり、期限は設けておりません。
委員	地域条件付一般競争入札の地域要件を満たす業者は既に多く存在しますか。
事務局	地域要件については、東広島市内の地域性と既存の業者数を加味して決めております。

(2) 入札及び契約手続に係る運用状況の報告について

発言者	内容
	特になし

(3) 検証対象工事の検証について

ア 令和7年度 生活市道整備事業 兼沢檜原線道路改良工事

発言者	内容
委員	入札した20者のうち19者が最低制限価格未満でしたが、もし残りの1者も含めて最低制限価格未満となるような場合には、先ほど説明のあった基準価格を最低制限価格に読み替えて落札候補者を決定するという制度改正が適用されるという理解でよろしいですか。

事務局	そのとおりです。
-----	----------

イ 令和7年度 未来都市形成事業 旧竹仁小学校改修工事

発言者	内容
委員	入札参加者は2者のみですが、予定価格が高いにも関わらず参加者数が2者にとどまった背景として、何が考えられますか。
事務局	本工事は契約金額が高くなる関係で、監理技術者又は主任技術者の専任配置を必要とします。昨今の業者の人材不足ということもあり、技術者に余裕のあった2者が応札したものと思われます。
委員	加算点は第2順位の業者が高いですが、入札価格の影響がより大きく、加算点の低い業者が、最終的な評価値で上回り1位になっています。先に説明のあった制度改正の施行後は、金額より技術点の評価がより重視され、今回の場合とは結論が逆転し得るという理解でよろしいですか。
事務局	そのとおりです。

ウ 令和7年度 道路維持修繕事業 田代本線舗装修繕工事

発言者	内容
委員	今回は、1者のみが最低制限価格を超え、その他の業者は全て無効となりましたが、全ての入札が最低制限価格を下回ったときだけに限らず、常に基準額を最低制限価格にすれば、こういう事態はあまり起こらないと思います。ランダム係数を乗じることは必須なのでしょうか。
事務局	ランダム係数については、不正防止の観点から、これまで同様継続していく予定です。

エ 令和7年度 東広島市下水道事業 風早地区污水管渠建設工事（安 07-1）

発言者	内容
委員	入札のあった3者の入札価格は、それぞれ約1,000万円の差がありますが、このように差が生じた理由として、どのようなことが考えられますか。
事務局	業者へ聴取したところ、最安値で入札した業者は、倉庫等が本工事の現場から近く、施工中の別の工事の現場からも近いこと、また、協力会社や社員の仕事を確保するため、低い金額で入札したようです。なお、他の1者についても、仕事を確保するために安く入札したものと思われます。

オ 令和7年度 生活市道整備事業 御菌宇東39号線道路改良工事

発言者	内容
委員	この工事は入札参加者数が30者で、土木一式工事と比べても多いですが、その理由として考えられることはありますか。

事務局	この工事は、工期が年度をまたいで6月、7月までかかりますが、この時期は、新年度に入り市からの工事の発注が少ないため、仕事の確保を目的として、入札の参加者数が多かったものと思われます。
委員	入札が少なく不調になりそうな工事を年度末に近い時期に発注する場合、年度初めの時期にかかるように規模を大きくして発注することで入札者数を増やすなどの調整や工夫は行いますか。
事務局	昨今では、発注時期を均等化するよう国からの指導もあります。市の会計は、単年度会計が原則で、議会との兼ね合い等もありますが、発注時期の均等化を念頭に置きながら、業者の収入が1年を通して一定になるよう、発注時期を調整する必要があると考えています。